

〔科目名〕 経済演習Ⅰ				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 工藤 恭嗣						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 経済法と経済学							
〔演習内容〕 本演習では、ミクロ経済学で学んだ市場機構を支える需要と供給について掘り下げ、需要と供給の存在を支える規則を題材に経済学に対する理解を深めます。具体的には、生産者(供給者)間の公正で自由な競争を保護する規則(例:独占禁止法)や消費者(需要者)の適正な選択を支える規則(例:景品表示法)に係る法的措置を取り上げ、ミクロ経済学の知見に基づきそれらの措置が市場機構に果たす役割や機能を解釈するとともに、規制当局の過少な又は過剰な介入が同機構にもたらす影響について、特に、マクロ経済への影響という視点からマクロ経済学の知見に基づき考察します。 なお、大学設置基準(第 21 条第 2 項)を参考に、それなりの課題が課されます。							
〔科目の到達目標〕 ・論理的思考(ロジック)と説得力ある表現方法(レトリック)の素養を養うこと。具体的には、 →経済法と経済学の学習を通じて、その時点での自分の考えを整理すること(ロジック) →演習内での討論を通じて、自分の考えを他者(ここには未来の自分も含む。)が理解しやすい形で伝えること(レトリック)							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○		○		○	○	
〔前提条件〕 ミクロ経済学、マクロ経済学							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 演習への参加状況、課題への取り組み状況、最終レポートの内容等を踏まえ、総合的に評価します。 (演習は学生による主体的な議論や発表を中心に行われる授業形態の一つであることから、公欠や病欠以外の欠席の場合、評価は不合格と成り得ます。)							
〔教科書〕 なし							
〔参考書〕 白石 忠志『法律文章読本』弘文堂、2024 川喜田 二郎『発想法』中央公論新社、2017(旧版あり)							
〔実務経歴〕 公正取引委員会、コンサルティング業							
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル							
時期	テーマと内容						
第 1 回	独占禁止法及び景品表示法を経済学の観点から概説し、演習で取り上げる事例を概観したのち、各事例の担当者を決定する。						
第 2 回 以降	・各担当者が報告し、参加者による質問・議論を進める。 ・担当した事例以外の事例について、各々の考察をレポートにまとめる。						